

中山 義隆

石垣市長

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、安心安全な未来に向けた「気づき」を発信する対談連載「みらいを灯す」第10回のゲストは、県内有数の観光地であると同時に尖閣諸島を擁する石垣市の中山義隆市長。台湾有事など島が抱える危機管理について話し合っていました。



写真／村山望

GUEST

中山 義隆

Yoshitaka Nakayama

石垣市長

石垣市出身。2010年に石垣市長に就任し、現在4期目。積極的な経済政策を打ち出し、尖閣諸島をめぐる事案や自衛隊の配備などについて保守的なスタンスで取り組んでいる。著書に『中国が耳をふさぐ尖閣諸島の都合な真実～石垣市長が綴る日本外交の在るべき姿～』（発行・ワニブックス）

有事に備え、準備だけはしておかねばなりません。

中国の動向をどう見るか

越智 石垣市は日本の南端に近く、台湾とも近いですね。農作物を直接台湾へ届ける計画も進められているとお聞きました。

中山 はい、販路拡大の一環です。石垣―台湾間の定期航路フェリーも来年秋に就航予定で、そのための法人も立ち上げたところです。航路が開けることで物流も活発になると思いますよ。

越智 それは素晴らしい。市の経済にとつて太い柱になりますね。

中山 台湾との距離は石垣の大きなポテンシャルです。例えば建築資材なども東京や大阪から運ぶより、台湾から直接持ってきた方がコストを低く抑えられます。

越智 なるほど。私は照明のLED化を推し進めています。沖縄だけ

で100灯を超えるであろうLEDの需要は国内だけでは賄えません。例えばそれを半製品の状態で台湾から石垣へ持ち込み、ここで組み立てれば「メイドイン沖縄」として販売することも可能ではないでしょうか。

中山 それはやってみたいですね。

越智 石垣市のLED化はどの程度進んでいますでしょうか？

中山 学校に関してはだいぶ進んでいます。2021年竣工の市役所ももちろん新築段階で全館LEDにしています。

越智 LED化で一番怖いのは、離島が最後の最後に回されて、結局モノが来ないという状況です。沖縄県の教育委員会にも先日この話をさせていただきました。来年度の予算で：などと悠長なことを言っている場合ではありませんよと。

中山 よくある話ですね。「他所の

様子も見ながら」とか…。

越智 LEDの原料であるガリウムは98パーセントを中国が持つていますから、関係がこじれると入ってこなくなりそうです。すると最悪、日本中の灯りが消えてしまうことになりかねない。石垣は尖閣諸島の件もありますし、中国の動向は気になる所ではないでしょうか。

中山 はい。先日NHKのラジオ国際放送などで中国人スタッフが「尖閣は中国の領土」と発言した件で、石垣市議会はNHKへの抗議決議を可決しています。しかし革新系の議員からは反対意見もありました。

越智 それはなぜでしょう？

中山 NHKも被害者であり、バスジャックが起きたからとバス会社に抗議するのはおかしいという理屈です。ですが、あれはバスの運転手がバスジャックしたようなものですか

な状況だと思いますが、準備だけはしておかなくてはと思います。

越智 有事の際には宮古・八重山から九州などへ住民を避難させるという計画も進められています。ただ実際に侵攻されるという状況になれば、九州でも安心はできませんよね。

中山 そうですね。

越智 いっそのこと北海道まで直行便を飛ばしてもいいのではないかと私は思います。例えば札幌ドームは5万人以上を収容できますから、いったん島の人たち全員をあそこに避難させるとか。政府が自衛隊機でも民間機でも用意して一気に避難させるべきです。

中山 いま国と県を交えて避難計画を作ろうとしています。避難民を乗せた航空機を飛ばせるのは朝8時から夜9時までとなっているんです。有事の際には24時間運航するべきだというのが私の考えですが、管制塔の職員の確保などが難しいと。

越智 政府も危機意識が足りていないように思えます。島の人たちを全員避難させ、最後まで残らなくてはならない人たちがシェルターでなんとか命だけは守る。そういう状況を覚悟しないといけないはずですが。

中山 以前市民向けにシェルターの説明会を行った時に「私はもう歳だから県外に避難なんてしたくない。

ここで死んでも構わない」という方がいらつしゃいました。でも、あなたを守るために若い職員が残らないといけないんですよ。その職員には家族もいるし将来もある。その人命を危険に晒さないためにも、避難に応じてくださいと言いました。

越智 市長さんが危機管理のトップ

として心を砕かれているのがよく分かるお話です。自然災害でも住民の避難は大きな課題ですね。私は津波から避難する際にはまず救命胴衣を着用するべきだという提言を全国各地でしているのですが…。

中山 石垣市では海岸沿いの小中学校に救命胴衣を配備しています。津波の避難訓練の際にはそれを着て逃げるよう指導しています。

越智 それは素晴らしい。私は全国の自治体を訪問していますが、実践されているところは少ないですよ。

中山 GPS発信器を付けた救命胴衣も石垣の業界団体が開発しており、実用化に向けて市も協力しているところなんです。これを着用していればたとえ遊泳中に流されてもすぐに場所が分かる仕組みです。

越智 素晴らしいですね。私は自治体向けのメルマガを発行していますので、ぜひ今度紹介させていただきます。

中山 こちらこそ、全国で紹介いただけるとうれしいです。

みらいを灯す

HOST

越智 文雄

Fumio Ochi

エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「(一社)日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。



海上保安庁巡視艇「やえづき」の前で

株式会社あかりみらい

akarimirai

お問合せはこちら

☎0120-760-814

フリーダイヤル受付(平日9時～17時30分)

あかりみらい

検索

【沖縄支社】沖縄県那覇市久茂地2-19-5

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階

【東京本社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階

【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階